

SR600 KYOTO 試走レポート

試走担当：片山泰輔（オダックス近畿神戸班）、
片山明子（オダックス近畿神戸班）

コース調査の分割試走を何度か行った後、SR600 KYOTO の試走を実施。

PC1 JR 京都駅～ PC2 スプリング日吉看板

ローソン京都駅前をスタートし、PC2 を目指します。日中は車や人でごった返す京都の市街地も早朝ということでスムーズに進みます。市街地を抜けて府道 31 号（鷹峯街道）へのぼりが始まる。斜度も緩やか、ほどなくして最高点へと到着して溪流沿いを下って京北エリアへ。涼しげな快走路をへて日吉ダムの周回路を走り、ほどなくして PC2 スプリング日吉看板へ到着。

PC2 スプリング日吉看板～PC3 民有林道郷路線記念碑

PC2 から交通量の少ない道が続き、やがて国道 27 号線へ。多少のアップダウンあれど走りやすい。途中から由良川沿いの道を走り綾部市街へ。コンビニで小休止入れた後、但東エリアの山岳を目指す。国道 176 号線からは本格的な登りが続き、いよいよ子午線クロスラインごうろ（民有林道郷路線）へ。標高は 500～600m 程度ながらも低さを感じさせないダイナミックな景観の林道サイクリングを楽しみながら PC3 へ到着。（※晩秋にはきれいな雲海が見える！！）

PC3 民有林道郷路線記念碑～PC4 城崎温泉駅

PC3 からはダウンヒル。とにかく眺望がよい！！体感的には 1000m クラスの林道を走っているかのような錯覚に陥る。アップダウンをこなしたあとは広大な田園地帯が広がる道をすすみ、その後は清流丸山川沿いを走り、徐々に海が近づいてきたことを肌で感じあるようになる。ほどなくして山陰の名湯、PC4 城崎温泉駅に到着。（今回は時間の都合で外湯に入れなかったが、本番走る方は是非！！）

PC4 城崎温泉駅～PC5 七竜峠ロードパーク 開通の碑

ここからは海岸線沿いのアップダウン。それなりの勾配のある道を進むとほどなくして久美浜湾・小天橋が見えてきた、海が青い！！空が近い！！丹後半島を通常の外周ルートにするのは芸がないということで県道 665 号線へ。ここのアップダウンはなかなか勾配がきついのだが、海を見ながら登るのはなんとも爽快である。ほどなくして PC6 七竜峠ロードパーク 開通の碑に到着。

PC5 七竜峠ロードパーク開通の碑～PC6 丹後縦貫林道太鼓山線看板～

PC7 丹後半島絶景ビュースポット看板

ここから前半戦のハイライトともいえるルートを走ることになる。
丹後半島の海沿いの道を気持ちよく走りながら、PC6 を通過して、いよいよ丹後縦貫林道へ。眼下に海を見ながら徐々に高度を上げていくのがなんとも面白い。最高点の標高がせいぜい 600m ほどしかないのだがそれ以上の険しさを感じる。汗をかきながら登っていくと碓高原へ。放牧もやっている気持ちのいい高原地帯だ。時間の都合もあるので先に進む。スキー場を抜けてほどなくして最高点を通過。眼下に宮津湾が見えさらに天橋立がくっきりと見え、景色に圧倒される。ほどなくして PC7 丹後半島絶景ビュースポット看板に到着。

PC7 丹後半島絶景ビュースポット看板～PC8 エンゼルライン看板

ここからは下り基調。棚田が美しい上世屋集落を抜けて本格的に下山後は天橋立を走る。未舗装ながらもなかなか気持ちのよい道だ。少々のアップダウンをこなしたあと舞鶴に到着。晩御飯にラーメンを食べてこの日はここに投宿。翌朝早朝に出発。国道 27 号を經由していよいよ若狭エリアへ。道をそれて海沿いの道を走る。
中盤のメインの山岳の一つであるエンゼルラインを上る。(※エンゼルラインは通行時間が決まっているため要注意。) ここはゼロ海拔から上るため標高の割には結構厳しい。ただ海を見ながら徐々に高度をあげていくのはやはり面白い。ほどなくして最高点の駐車場に到着。ここから見るパノラマ感はすごい。海と空の境界線が本当に美しい!! PC9 エンゼルライン看板を撮影後名残惜しさを感じながら下山。

PC8 エンゼルライン看板～PC9 広域基幹林道若狭幹線展望台ビューポイント案内図

この SR600 で間違いなく最難関区間。なぜなら、通常の BRM ではコースに組み込まれることのない本格的な未舗装林道だからだ。とはいえ、25C のタイヤにリムブレーキで十分走ることはできるレベルなので安心してほしい。未舗装区間を上っていくとほどなくして PC9 広域基幹林道若狭幹線展望台ビューポイント案内図に到着。

PC9 広域基幹林道若狭幹線展望台ビューポイント案内図～PC10 道の駅三方五湖看板

この先も舗装と未舗装を繰り返し、そしてアップダウンを繰り返しながら進む。海の青さ、空の近さ、土の香りなどを楽しみながら走る。ほどなくしてやっと下界に到着。海沿いの快走路を走り、PC10 道の駅三方五湖看板に到着。

PC10 道の駅三方五湖看板～PC11 おにゅう峠石碑

途中のファミリーマートで補給した後、広大な田園地帯の平坦路を抜けて国道 27 号線へ戻ってきた。ここからおにゅう峠を目指しての登坂。道路工事で道は多少良くなったけど、それでもあまりよいとはいえない。後半の急こう配を乗り切ると本当に壮大な景色が広がり、

さらに奥には日本海が見える。ほどなくして PC 11 おにゅう峠石碑に到着。

PC 11 おにゅう峠石碑～PC 12 百井地域周辺マップ

おにゅう峠の下りも本当に景色がよい！！（秋に来ると雲海が見える！！）長い長い下りのあとは能見峠を上り、その後花脊を上るのだが、ここからの区間は斜度が緩いので楽だ。その後、百ヶ井峠を上るがここは悪名高い激坂。なんとか登り切ってその後しばらく下って PC 12 百井地域周辺マップに到着。

PC 12 百井地域周辺マップ～PC 13 金勝山ハイキングコース案内図

PC 12 を後にするが、日没が近づいてきた。そしていよいよ琵琶湖。SR600 で琵琶湖大橋を渡るというのなかなかしゃれた演出だなと思いながら湖東エリアへ。今日はこのあたりで宿泊。朝早めに出発して、ここは競走馬の聖地栗東へ。ほどなくして金勝山の取り付けへ。さすがに 3 日目となると少し疲れが見えるが、なんとか登りきって PC 13 金勝山ハイキングコース案内図に到着。

PC 13 金勝山ハイキングコース案内図～PC 14 西山春日神社

PC 13 を出て下った後は信楽からの気持ちのよい快走路。サイクリストたちともすれ違う。京都班ブルベでも登場する御斎峠（ここも景色がよい！）を下ってしばらく行くと PC 15 西山春日神社に到着。

PC 14 西山春日神社～PC 15 大神宮社

PC 14 を出るといよいよ三国越林道へ。ここも標高は 600m ほどしかないがなかなか険しい峠で道もそれほどいいとはいえない。ただ時折見える伊賀盆地の景観は抜群。下りをこなしてさらに進むと童仙房地区へ。いよいよ茶畑が見えてくる。ほどなくして PC 15 大神宮社に到着。

PC 15 大神宮社～PC 16 金胎寺

PC 15 を過ぎた後も茶畑の景観は続くが、断続的なアップダウンが続く。下山すると和束町に到着し、コンビニで軽く補給をする。ここからの道は最終盤の山岳コースだ。府道 62 号の斜度はなかなか強烈。途中右折して金胎寺を目指す。登りはしばらく続く。途中視界が広がると壮大な茶畑が広がっていて、濃いグリーンを見ると最後ひと踏ん張りする気力がわいてくる。ほどなくして PC 16 金胎寺に到着。

PC 16 金胎寺～PC 17 JR 京都駅

PC 17 からは下り基調と平坦路となめてはいけない。ここからの下りは強烈で本当にここを下るのか？という荒れた路面の急こう配の下りが続く。やっとこさ下りが終わり、いよいよ

よゴールへ向けてのカウントダウン。宇治川・天ヶ瀬ダムを抜けて、平等院の近くを通過して、いよいよ京都市街へ。京都市街は大和街道という古き良き街並みの面影を残す市民の道だ。伏見稲荷や東福寺などを横目に走るとああ帰ってきたなという気分になる。そして京都駅に到着。長い長い道のりだった。前作の SR600NISHI NIHON とは異なる面白さを感じてのゴールだった。